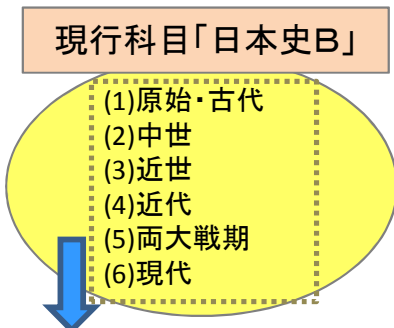
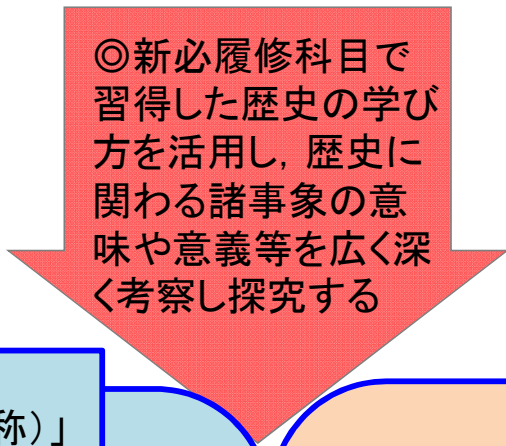
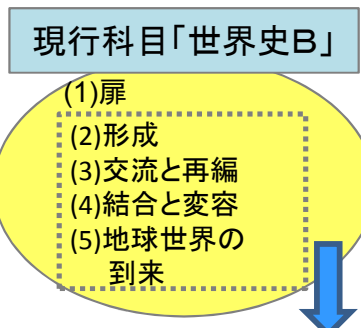
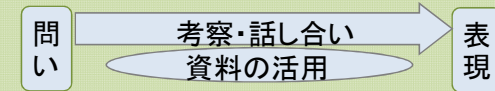


新必修修科目「歴史総合(仮称)」

- 世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目
- 歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる本質的で大きな問いを設け、諸資料を適切に活用しながら、比較や因果関係を追究するなど社会的事象等の歴史的な見方や考え方をを用いて考察する歴史の学び方を身に付ける。



新選択科目
「世界史に関わる探究科目(仮称)」

- 諸地域世界の歴史の大きな枠組と展開について、地理的条件や日本の歴史と関連付けて広く深く探究する。
- 前近代では、
 - ・「歴史総合(仮称)」で育んだ歴史の学び方を生かして、諸資料を効果的に活用して歴史を考察し表現する。
 - ・近現代につながる諸地域世界の文化の多様性や複合性を扱い、時間軸(タテ)と空間軸(ヨコ)の変化に着目して理解する。
- 近現代では、
 - ・近現代の諸地域世界の相互依存性や多元性を扱い、近現代の歴史に関わる豊富な資料を活用し、広い視野から考察し表現する学習を通して、主に空間軸(ヨコ)の変化に着目して、現代につながる諸課題を多面的・多角的に考察する。
 - ・「歴史総合(仮称)」で獲得した概念等に加え、さらに考察を深めるために必要な歴史に関する概念等を習得する。

新選択科目
「日本史に関わる探究科目(仮称)」

- 我が国の歴史の展開について、歴史を構成する様々な要素から総合的に広く深く探究する。
- 前近代では、
 - ・「歴史総合(仮称)」で育んだ歴史の学び方を一層高めるため、多様な資料を効果的に活用して歴史を解釈、説明する力を段階的に成長させて歴史を考察し表現する。
 - ・近現代につながる各時代の展開に関わる理解や、我が国の伝統や文化への理解を深める。
- 近現代では、
 - ・「歴史総合(仮称)」で獲得した概念等、前近代の学習で成長させた歴史を解釈、説明する力を活用し、地域と日本、世界の相互の関係を捉え、現代につながる諸課題を多面的・多角的に考察する。
 - ・「歴史総合(仮称)」で獲得した概念等に加え、さらに考察を深めるために必要な歴史に関する概念等を習得する。

※歴史用語の在り方については、研究者と教員との対話を通じ、社会的事象等の歴史的な見方や考え方を踏まえて、概念等に関する知識を明確化するなどして構造化を図る。